

RES250 地域データ分析

2年 3,4クォーター

担当教員 月原 敏博

授業形態 講義（実習を含む）

アクティブ・ラーニング アクティブ・ラーニング科目

単位数 2

曜日・時限 金曜日・2時限

授業概要

地域社会の研究に必要な地域分析の方法を体験的に学ぶ授業である。講義ではあるが、パソコンの端末室で行なう授業であり、実習的要素を多く含む。具体的には、ネット上でのデータ探索作業を手始めに、行政等がもつ統計データやフィールド調査で得られた計測データ、およびそれらの統計分析結果を地図化する作業などを行う。一連の作業を通じて、地域分析の基礎的能力だけでなく地域というものの見方・捉え方についても理解を深める。

到達目標

地域社会や地域環境の研究に必要な、地域分析能力と地図処理能力とを養うこと。
具体的には次のような能力である。

- 1) パソコンを利用してネット上の統計データ（や観測データ）を探索・収集できる。
- 2) その統計データに対して、回帰分析など必要な統計分析を行うことができる。
- 3) 統計などの地域的データに対し、地理的・地域的な分析・考察を行うことができる。
- 4) 以上の分析結果を地図化して、統計地図やグラフのかたちで表現することができる。
（ひいては GIS システムの基本形を構築することができる）
- 5) 一連の地域分析過程と結果について視覚的に説明（プレゼン）することができる。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

特定の教科書は用いず、担当者が作成したプリントを配布して講述するが、学生には以下を主な推薦図書とする。

- ・村山祐司・駒木伸比古『地域分析 ―データ入手・解析・評価―』，古今書院，2013年（新版）。
- ・後藤真太郎ほか『MANDARA と EXCEL による市民のための GIS 講座』，古今書院，2013年（第3版）。
- ・人文地理学会（編）『人文地理学事典』，丸善出版，2013年。

授業の方法

講義ではあるが、パソコンの端末室で行なう授業であり、実習的要素を多く含む。毎回の授業で課す課題があり、その作業結果を次回の授業時までに提出する必要がある。

成績評価

大きく2つの面から評価する。1つは授業態度と授業参加の積極性であり、もう1つは毎回の授業で課す課題の提出物に対する評価である。

成績

- 50% 授業態度と授業参加の積極性
50% 毎回の授業で課す課題の提出物

授業スケジュール

第1回：地図と測量の歴史

History of Maps and Surveying Technology

- 第2回：さまざまな主題図と現代のオンライン地図情報サービス
Thematic Maps and Current Online Map Information Service
- 第3回：地図と空中写真・衛星画像のデータベースとその活用法（1）
Database of Maps, Aerial Photos and Satellite Images (1)
- 第4回：地図と空中写真・衛星画像のデータベースとその活用法（2）
Database of Maps, Aerial Photos and Satellite Images (2)
- 第5回：地図と空中写真・衛星画像のデータベースとその活用法（3）
Database of Maps, Aerial Photos and Satellite Images (3)
- 第6回：統計データの探索と統計分析（1）
Searching/Analyzing Statistical Data (1)
- 第7回：統計データの探索と統計分析（2）
Searching/Analyzing Statistical Data (2)
- 第8回：空間データと属性データ（1）
Spatial Data and Attributes (1)
- 第9回：空間データと属性データ（2）
Spatial Data and Attributes (2)
- 第10回：空間データと属性データ（3）
Spatial Data and Attributes (3)
- 第11回：福井県地域の地域分析（1）：国内レベル
Spatial Analysis of Fukui Area (1)
- 第12回：福井県地域の地域分析（2）：国内レベル
Spatial Analysis of Fukui Area (2)
- 第13回：福井県地域の地域分析（3）：市町村レベル
Spatial Analysis of Fukui Area (3)
- 第14回：福井県地域の地域分析（4）：町丁区レベル
Spatial Analysis of Fukui Area (4)
- 第15回：福井県地域の地域分析（5）：国際レベル
Spatial Analysis of Fukui Area (5)

事前・事後学習

- 事前学習：前回の授業で提示した専門用語や概念について、推薦図書やWEBページを利用して予め調べてくること（作業に要する時間は1時間程度）。
- 事後学習：前回の授業で課された作業課題をまずこなすこと。この作業は前回授業の復習にもなる。作業課題は次回の授業までに提出する（作業に要する時間は1時間程度）。